

大山 Daisen Parkway ウエイの旅

Daisen Parkway

心ほぐれる ゆったりドライブ

「大山パークウェイ」は、

大山隠岐国立公園の雄大な山岳地帯と
白砂青松の風光明媚な臨海地帯を走る、
全長約80キロの道。

車窓の景色のすばらしさはもちろん、

周辺の多様なアクティビティや
地元ならではのおいしい食など、
どれをとっても一級品ばかり。

「スロー&ストップ」を合言葉に、
心ほぐれる癒しのドライブにさあ、出発。



文／岩村 利恵 写真／田中 良子
写真協力／大山 王国

大山寺

奈良時代の創建で、平安末期、室町時代には天台宗山岳仏教の修験場として寺勢を誇った。本堂、霊宝閣、阿弥陀堂などが残っている。明治の廃仏毀釈を免れた文化財は、宝物館霊宝閣に收藏されている。

■ Address 西伯郡大山町大山9
■ Tel 0859-52-2158

大神山神社奥宮

自然石を敷きつめた700石の参道、権現造りの社殿、白檀の漆塗りの幣殿。この3つが「日本一」とされる。ふもとの米子市内には大神山神社本社がある。

■ Address 西伯郡大山町大山1 ■ Tel 0859-52-2507
■ HP <http://www2.sanmedia.or.jp/oogamiyama/>



奥宮へ向かう長さが日本一の石畳の参道



大山寺本堂



大山寺阿弥陀堂に納められている木造阿弥陀如来像(国の重要文化財)



Daisen Parkway

蒜山高原・奥大山・大山
Daisen Hiruzen



とやま旅館代表兼料理長の兜山真宏さん



大神山神社奥宮



大神山神社奥宮幣殿の格天井



大パノラマが広がる鬼女台からの眺め



幻想的な雰囲気漂うブナ原生林



蒜山高原ジャージー牛放牧場

休暇村 大山鏡ヶ成

ブナやミズナラの原生林に囲まれた高原に建つ公共の宿。広大な芝生広場が広がり、キャンプ・グランドゴルフ・スキー場など、四季折々の楽しみ方が満載。

■ Address 日野郡江府町御机 709-1
■ Tel 0859-75-2300
■ HP <http://www.qkamura.or.jp/daisen/>

絶景ポイント次々と

緑の大山は、命の輝きに満ち溢れている。ブナやミズナラを代表とする広葉樹は新葉を茂らせ、草花は可憐な花を咲かせ、野鳥たちは競うように美しい声でさえずる。

パークウェイ・南の玄関口、蒜山高原からドライブを始めよう。目の前に広がるのは、まるで緑の絨毯を敷きつめたような美しく広大な高原。ジャージー牛の日本最大の飼育地とあって、のんびりと草を食む牛たちを眺めたり、新鮮なミルクを使った濃厚なソフトクリームを味わうなど、楽しみ方は色々。

道を進むと、鮮やかな濃淡のグリーンに彩られた木々が作る自然のトンネルがお出迎え。このあたりはどこもかしこも絶景ポイント。「鬼女台展望休憩所」は、360度の大パノラマでなだらかな山並みや高原を見下ろせ、「鍵掛峠」では険しい断崖絶壁の荒々しい大山を大スケールで感じることができる。

ここでドライブをひと休み。標高800〜900m、奥大山一体に広がるブナの原生林を歩いてみよう。豊かな森が育んだ清らかな川の流れを眺め、そよ風にゆれる葉音を聞き、小さな虫たちの営みに目をむければ、心も体も軽くなり爽快な気分になれるはず。

悠久に浸り、舌も満足

山麓を南側から北側へぐると車を走らせると、山陰きつての古刹「大山寺」に到着する。かつて僧兵3千人以上を抱えるほどの栄華を誇った寺で、現在でも多くの寺宝や木造阿弥陀如来坐像などの貴重な文化財を見学できる。さらに石畳に登り奥へ進むと「大神山神社奥宮」が鎮座。圧巻は幣殿内の格天井。234枚もの花鳥人物が描かれ、美しい彩色は今なお輝きを放ち、観るものを悠久の刻に誘ってくれる。

そろそろお腹が空くころ。大山はおいしい食材の宝庫だが、おすすめ

めは、大山鶏だ。大山寺のふもとにある老舗「とやま旅館」で、ぶりぶりと弾力があるのに、柔らかな肉質と抜群の旨みをいかした照り焼き丼をいただく。ふっくらジューシーな鶏肉に、さらりとした甘さの自家製のタレが絡まり絶品。代表兼料理長・兜山真宏さんの『地元食材を使うこと』で大山の魅力を伝えられたら」という言葉通り、付けあわせには兜山さん家族が摘んできた山菜の佃煮や漬物、地元産の味噌を使った味噌汁などが並ぶ。素朴ながら旬の味を楽しむ贅沢な時間が過ごせる。



大山鶏の照り焼き丼

とやま旅館

1909(明治42)年に創業。家族旅行、学生の合宿などに人気が高い。自然の中でバーベキューも可能。50台の駐車場完備。

■ Address 西伯郡大山町大山18 ■ Tel 0859-52-2431
■ HP <http://www2.sanmedia.or.jp/toyama/>

大山自然歴史館

大山形成の過程、山岳信仰の歴史、生息する動植物など、大山に関わるさまざまな分野をわかりやすく紹介。自然観察会などのイベントもあり。【入館無料・博労座駐車場無料(冬期を除く)】

時 間: 9:00〜17:00 (夏期9:00〜18:30)
休 館 日: 9月4日、12月29日〜1月3日、3月24日
■ Address 西伯郡大山町大山43 ■ Tel 0859-52-2327
■ HP <http://daisenrekishikan.pref.tottori.jp/>

Point Guide #1

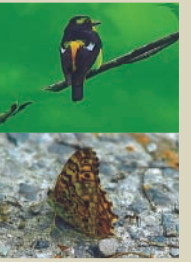
桧水高原上にある横手道から大山寺までを歩くことができる約5kmのトレッキングコース。土・日曜、祝日は自然観察員による解説あり。前日までに予約が必要。

期 間: 4月25日〜11月下旬

大山レークホテル

■ Address 西伯郡大山町飯戸1521-154 ■ Tel 0859-52-3333
■ HP <http://www.daisen.com/>

大山ブナの森ウォーク



写真提供/大山自然歴史館



Point Guide #3

スリミングステイプログラム

皆生温泉旅館組合が企画し、各旅館・ホテルが独自のメニューを展開。「3%美しくなる旅」が共通コンセプトで、「脂肪燃焼入浴」「ビューティレシビ」「海岸散策」を基本に、健康と美を保つためのプログラムで構成している。「ビューティレシビ」のメニューは、地元ならではの旬の味覚を統一食材として使いつつ総カロリーは1000～1200キロカロリーと控えめ。脂肪が燃焼しやすい入浴方法も提案している。

皆生温泉 華水亭

■ Address 米子市皆生温泉4-19-10 ■ Tel 0859-33-0001 ■ HP <http://www.kaike-grandhotel.co.jp/kasuitei/>

夕食は1200キロカロリーまでに抑えた「ビューティレシビ」、美しい渚の皆生海岸を楽しむ「海岸散策」の3つを基本に、訪れたときよりもきれいに、元気になるプログラムだ。普段はあまり意識していない自分の体を見つめ慈しむ時間は、きつと明日への活力になるだろう。

ドライブも終盤。少しずつ潮の香りがたどよい、海の近いことがわかる。1日をアクティブに過ごした体をゆったりと休める場所はやはり温泉。ここ皆生温泉では、健康と美を保つ宿泊プログラム「スリミングステイ」を実施、人気になっている。ミネラルたっぷりの温泉での「脂肪燃焼入浴」、

さらに道は山麓を進む。肥沃な土地のおかげで、お茶や野菜、フルーツなどの栽培が盛んところだ。その丘陵地に出現した「妻木晩田遺跡」では、弥生時代の大規模なムラの跡が保存・復元展示されている。解説員によれば「遺跡はまだまだ謎だらけ。もしかしたらあなたがその謎を解明するかもしれませんよ」とのこと。おすすめはガイドによる解説ツアー。実際にお話を聞きながら遺跡を回ると、遙か古代への想いがより膨らみ、束の間の歴史ロマンの旅を堪能できる。そしてもうひとつ山麓に現れるものが、長い年月をかけ湧き出る地下水。パークウェイ沿いにもたくさん湧出池があるが、なかでも「天の真名井」は2千年もの古から農耕や生活に利用されてきた名水で、日本名水百選にも選ばれている。菅茸きの水車がゆったりと回り、遊歩道も整備されているので、ぶらり散策もいい。

歴史ロマンと癒しの湯

Sakaiminato

眺望と魚、体験も

今日は海岸ドライブからスタートする。最初に出会えるのは17キロにも及ぶ白砂青松の海岸が続く景勝地。夏ともなればヨットやシーカヤックなどのマリンスポーツが楽しめ、海岸にある「弓ヶ浜展望台」からは大山や島根半島など、雄大な景色がパノラマで広がるオススメの撮影スポットだ。

海といえば魚。ということで、パークウェイ沿いには海鮮市場がたくさんある。境漁港から水揚げされたばかりの新鮮な魚介が安く手に入るとあって、お土産人気ナンバー1。カニやマグロ、イカ、カレイなど日本海を代表する魚たちに加え、近海の地物が所狭しと並び、選ぶ楽しみも味わえる。

ここで少し寄り道をしてみよう。ゲゲゲの鬼太郎でおなじみのキヤククターが出迎える「水木しげるロード」から少し入ると、美しいガラスの世界を体験できる工房がある。『暮らしの中で楽しめる、夢の広がるガラスを作りたい』というガラス作家・北里由利さんの指導で、アクセサリーや器などのオリジナル作品を制作できる人気のプログラム。30分程度でできるものもあり、旅の思い出におすすめ。

工房で体験できるガラスフュージング

目の前に広がる雄大な景色。左の奥に見えるのが島根半島

ガラス工房 北里

ガラスのかげらの中から好きな色を選んでペンダントなどの小物づくり体験（ガラスフュージング1500円～）ができる。※要予約
休館日：不定休

■ Address 境港市京町44
■ Tel 0859-42-5134

Point Guide #2

妻木晩田遺跡

大山の麓に甦った弥生時代の国邑。範囲は、米子市・西伯郡大山町にまたがる晩田山丘陵全域にも及ぶ。これまでの発掘調査で、弥生時代中期末～古墳時代前期にかけての、堅穴住居跡430棟以上、山陰地方特有の四隅突出型墳丘墓などが34基等、山陰地方の弥生時代像の真実にせまる貴重な資料が多く発見されている。

※妻木晩田遺跡事務所 ボランティアガイドの定時案内（4月～11月）※申込不要 平日→13:30 土日祝→10:30、13:30の2回 【入場無料】
時 間：9:00～17:00（入場は16時30分まで） 定休日：12月29日～1月3日
※2009年12月1日～2010年4月3日まで新ガイダンス棟建築工事のため休館。新ガイダンス棟は2010年4月4日オープン。

■ Address 西伯郡大山町妻木1115-4 ■ Tel 0859-37-4000
■ HP <http://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda/>

白鳳の里

名水豆腐料理などが食べられる「どんぐりの館」、天然温泉「淀江ゆめ温泉」、古代体験などができる「古代の丘公園」の3施設ある。営業時間、定休日などは各施設で異なるので要確認。

■ Address 米子市淀江町福岡1548-1 ■ Tel 0859-56-6798
■ HP <http://www.hakuhou.jp/>

お菓子の壽城

山陰の銘菓を試食自由で選べ、和菓子の製造見学もできる。どち餅の販売や大山を一望出来る喫茶コーナーもあり。

時 間：8:00～17:00 定休日：年中無休（12/31休）

■ Address 米子市淀江町佐陀1605-1 ■ Tel 0859-39-4111
■ HP <http://www.okashinet.co.jp/kotobukijo/>



魚市場情報

さかいみなと魚センター

時 間：8:30～17:00 定休日：毎週水曜日
■ Address 境港竹内団地259-2・夢みなと公園内（タワー隣り） ■ Tel 0859-45-1111

大漁市場なかうら

時 間：8:15～16:30 定休日：年中無休（1/1～1/4休）
■ Address 境港市竹内団地209 ■ Tel 0859-45-1600

境港水産物直売センター

時 間：8:00～16:00 定休日：毎週火曜日（12月は第1火曜日のみ）※祝日の場合翌日
■ Address 境港市昭和町9-5 ■ Tel 0859-44-6668（境港水産振興協会）



「えびす様」の愛称で親しまれている事代主命をお祀りし、全国に3385社ある「えびす神社」の総本宮。大社造りの社殿が2つ並ぶ本殿は「美保造り」と呼ばれ、国の重要文化財に指定されている。えびす様は商売繁盛や縁結びのほか、「鳴り物好き」の神様としての信仰もあり、境内にある宝物館には、出雲琴などさまざまな楽器が収蔵されている。4月の青柴垣神事、12月の諸手船神事は、出雲神話の国譲りにゆかりのある厳かな神事で、現在も受け継がれている。

美保神社 ■ Address 松江市美保関町美保関608 ■ Tel 0852-73-0506
■ HP <http://www.miho.sanin.jp/> (美保関地区活性化協議会)

美保神社の歴史



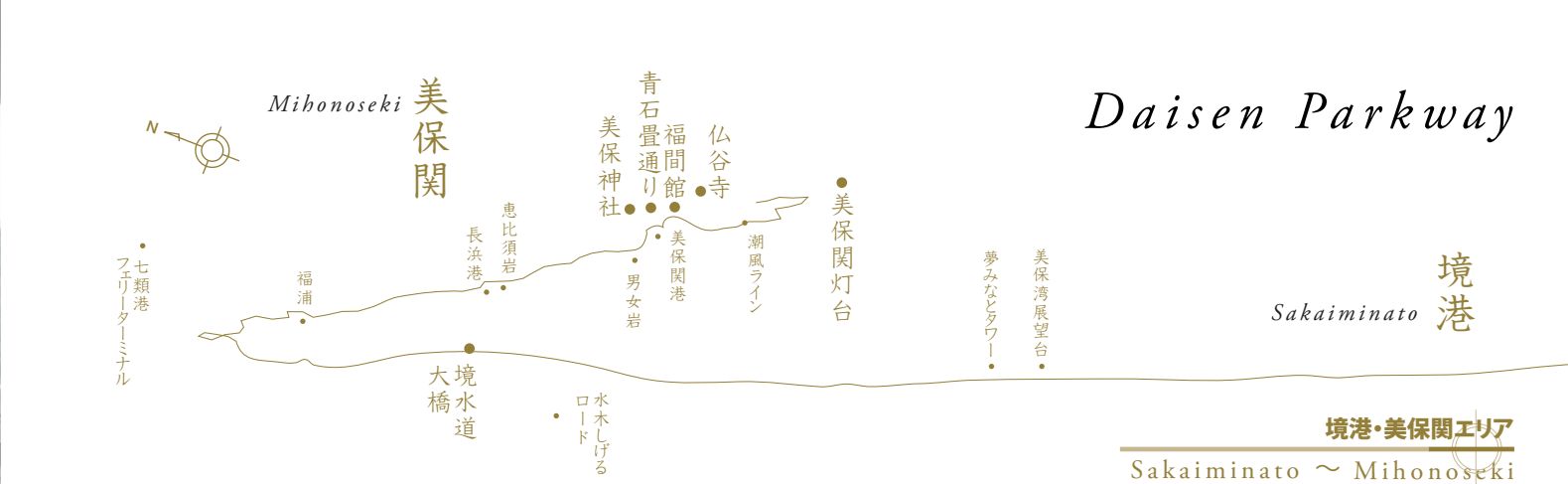
年2回の神事で使われる船



美保神社の横山宏充さん



美保神社本殿



新鮮な魚料理満載の昼食(福間町)



晴れた日には大山を望むことのできる港



店先に並ぶ天日干しされた魚

美保関灯台

フランス人の指導によって1898(明治31)年、建設された山陰最古の石造灯台。歴史的文化的価値が高く、「世界灯台100選」に選ばれている。日本海を見渡す大パノラマは絶景。灯台守の宿舎だった隣接の建物は、現在「観光ビュッフェ」として営業。

時 間: 9:00~17:00
(観光ビュッフェ)

休 館 日: 毎週木曜日

■ Address 松江市美保関町地蔵崎

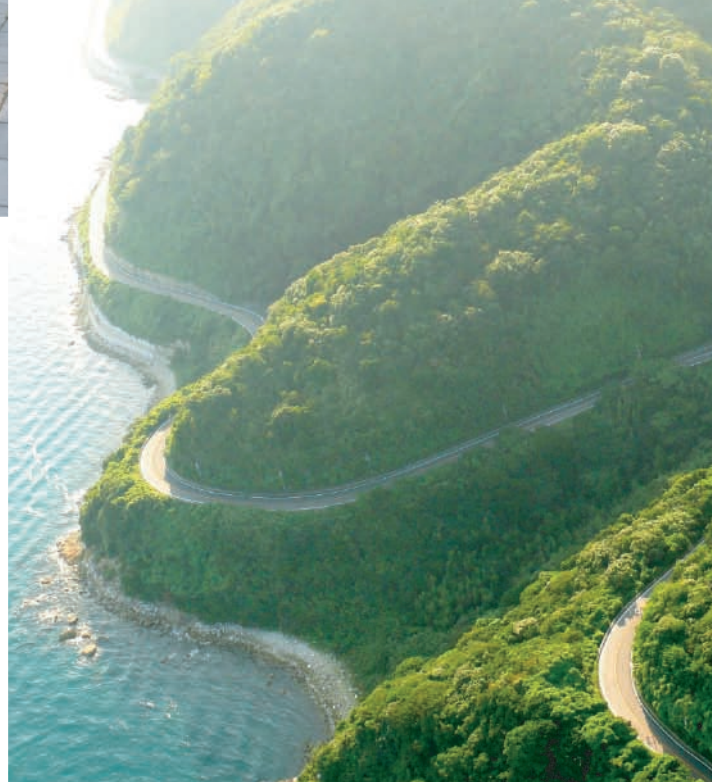
■ Tel 0852-73-0211 (観光ビュッフェ)
0852-72-2811 (松江観光協会 美保関町支部)

美保関灯台と観光ビュッフェ(左)



さらに海辺の道を登ると、フランス人技師が設計して建てられた白亜の石造灯台「美保関灯台」に到着だ。見渡す限りの大海原が広がり、天気によければ隠岐島も見える絶好のロケーション。隣接する観光ビュッフェ内には初代・二代目のレンズが展示されていて、その大きさ・美しさに圧倒される。

複雑な海岸線が続く美保灯台への道のり



漁港の楽しみといえば、食事とそのひとつ。刺身・煮付け・天ぷら・焼物など、それぞれの魚や食材に合わせた調理法で、さすがのおいしさ。「福間館」の代表・福間隆さんによると「刺身は毎朝水揚げされた魚を使うので日替わりです。これからはアゴ(トビウオ)の季節。船に乗って、アゴすくいも体験できますよ」。

漁港の楽しみといえば、食事とそのひとつ。刺身・煮付け・天ぷら・焼物など、それぞれの魚や食材に合わせた調理法で、さすがのおいしさ。「福間館」の代表・福間隆さんによると「刺身は毎朝水揚げされた魚を使うので日替わりです。これからはアゴ(トビウオ)の季節。船に乗って、アゴすくいも体験できますよ」。

最終地点「美保関」に向かう。途中「境水道大橋」を通り、いざ島根半島へ。ノスタルジックな漁村の風景が広がる美保関町は、神話の時代から連綿と続く歴史がそこかしこに散らばっている。その中心地「美保神社」は、えびす様として有名な「事代主神」がご祭神。ことに海運・水産に携わる人々から広く親しまれているが、実は「美保のミは女、ホは男」という意味も持ちます。縁結びの神社でもあるのですよ」とは、美保神社・禰宜の横山宏充さんのお話。左右に2棟並立された本殿にもそれぞれ男女の神をお祀りしてあり、なるほどご利益がありそうだ。門前には江戸時代中期以降、北前船の航路として賑わった当時の佇まいを残す「青石畳通り」があり、山陰最古の木仏像が安置される「仏谷寺」へと続く。出雲様式と呼ばれる一木造りの薬師如来や観音菩薩など5体の仏像を間近に拝観でき、心静かな時間を過ごすことができる。

Mihonoseki 情緒たっぷりな港まち

仏谷寺

薬師如来、日光・月光・虚空蔵・聖観音菩薩の5体仏像が拝観できる。山陰最古の木仏像は国指定重要文化財にも指定されている。拝観案内は青石畳通り沿いの休み処「入来舎」で。

時 間: 10:00~15:00 営 業 日: 毎週水・土・日曜日

■ Address 松江市美保関町美保関530 ■ Tel 0852-73-0011 (福間方)
■ HP <http://miho.sanin.jp/> (美保関地区活性化協議会)

福間館

1717(享保2)年から営業する老舗旅館。明治、大正から昭和の初めにかけは、多くの文人、墨客が訪れ、その作品も館内に多く展示されている。観光遊覧船でクルージング体験ができる。

■ Address 松江市美保関町美保関586 ■ Tel 0852-73-0011
■ HP <http://www.fukumakan.jp/>



情緒ある青石畳通り



仏谷寺に安置されている5体の仏像



お休み処「入来舎」



境水道大橋

大山パークウェイ協議会

蒜山から大山、米子、境港を経由し美保関に至る優れた景観を有する連続した一本の道を「大山パークウェイ」と名付け、地域の連携と観光振興を図っているのが、大山パークウェイ協議会(石村隆男理事長)。鳥取県、園城市町村、観光協会など官民が参加し立ち上げた。同パークウェイは、大山エリアを南北に縦断するコースを「大山蒜山パークウェイ」、白砂青松の美保湾を走行するコースを「美保湾パークウェイ」の2つのルートで構成されている。

■ Tel 0859-68-3091 (大山王国 NPO法人大山中海観光推進機構)
■ HP <http://parkway.daisenking.net/>